

1 自治体名	2 関係部署名	
兵庫県	福祉部児童家庭課	
1 行政課題の分野	2 支援施策の分類	3 対象とする世代
福祉	子育て支援施策	その他の場合は自由記載
4 事業者の協力を求める内容	5 困りごとの解決・解消に向けた対応期間	
解決に向けた既存枠組への協力	中長期的に対応していきたい	
6 解決・解消に要する費用に対する考え方		7 補足資料の有無
社会貢献として無償協力願いたい		なし

1 困りごとと事業者に期待する内容(要約)

行政だけでなく、社会全体で児童虐待問題の意識を高め、児童虐待をなくしたいという思いを共有し、すべての子どもと保護者が笑顔で過ごせる“ひょうご”をともに作っていきましょう。

2 現状の行政課題

○児童虐待は家庭内だけの問題ではなく、地域社会全体で子どもを守るべき重要な社会課題です。全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数は依然として22万件を超える高水準で推移しており、行政機関のみで対応するには限界があります。

○虐待の兆候に気付いても「通報してよいのか分からない」「近所づきあいへの影響が心配」といった理由から通告をためらうことがないよう、適切な相談先(「児童相談所虐待対応ダイヤル『189』」や「親子のための相談LINE」)の周知やオレンジリボン運動などの啓発活動を推進するなど、企業、学校、地域団体、NPO等と連携しながら、社会全体で子どもを見守る環境づくりが必要です。

○虐待の未然防止には、子育て家庭の孤立を防ぎ、多様な主体が連携して支援する仕組みづくりが不可欠であり、行政だけでなく企業や地域社会を含めた総合的な取組の強化が大きな課題となっています。

3 行政課題に対する施策(事業)展開による対応状況と困っていること(課題)

○兵庫県では特設サイト「児童虐待ゼロプロジェクト」(<https://hyogo-helpkids.com/>)を立ち上げ、SNS(google.LINE.TikTok.X.YouTube)等にプッシュ型情報発信を行うことで、社会への意識啓発に努めています。

○特に11月はこども家庭庁が「秋のこどもまんなか月間」として「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施しています。兵庫県においても、プロスポーツクラブ(神戸ストークス、ヴィクトリーナ姫路)との協働による試合会場等における啓発活動や、株式会社ローソンの協働による県内各店舗でのPOSレジ画面への児童虐待防止啓発画面の表示などの取組みを行ってきました。

○しかし、現状、地域全体で子どもを見守る意識は十分であるとは言えず、今後も継続的かつ効果的な発信を官民ともに取り組んでいく必要があると感じています。

4 企業・団体に「困りごと」解決に向けて連携や協力を求める内容

○児童虐待防止は行政だけの課題ではありません。子どもたちの未来を守るために、地域社会全体での意識向上につながる効果的な取組みをご提案願います。

○特に官民連携で行うことができ、訴求力のある取組み、話題性のある取組みをご提案いただきたいと思います。

○啓発したい内容は、特設サイトに記載してあるような内容です。

子どもや保護者に対して:相談できる窓口(「児童相談所虐待対応ダイヤル『189』」や「親子のための相談LINE」)があること。

周囲の大人に対して:虐待かも、と感じたら迷わず通報してほしいこと。